



7月に二つの民謡日本一の快挙を達成し、栗山町に報告に訪れた濱谷さん

産経民謡大賞で 全道初の総理大臣賞を受賞

はま や みず き
濱谷 瑞希さん(26)

第61回産経民謡大賞「大賞の部」大賞、
内閣総理大臣賞

34回北海盆唄全国大会
「成年の部」優勝、名人

5歳から家族の影響で 民謡を初める

濱谷さんは郷土民謡研究翼声会会主の石川一男さんに師事し、5歳から民謡を始めました。始めてすぐに才能が開花し、幼少の頃から数々の賞を受賞。7月26日に大阪市で開催された産経民謡大賞で日本一に輝く、北海道勢初の快挙となりました。また、北海盆唄の全国大会でも優勝し、北海盆唄名人の称号が与えられました。

6歳から22歳までを栗山町で過ごした濱谷さん。全国大会後に受けたインタビューでは、栗山町で民謡と共に育ったことなどを話したと言います。

また、国内だけでなく、ロシアやオーストリアなどでも日本代表として唄を披露してきました。

民謡は 国境も言葉の壁も乗り越こえる

現在、空知管内の小学校で教職に就いている濱谷さん。「民謡は、仕事とのバランスを保って楽しく続けてこられました。震災のチャリティーコンサートでは、避難されてきた方から、『今日はふるさとを思い出して元気をもらいました』と言っていただけでした。また海外のステージでは、言葉は通じなくても、ソーラン節の振りを会場の皆さんと行い、民謡は世界をつなぐ架け橋になるんだと思いました。民謡を続けて本当に良かったです」と話します。

民謡の素晴らしさを たくさんの人に広めたい

また、濱谷さんは仕事と唄の練習で忙しい合間に、町内の小学校をはじめ空知管内の児童たちへ、民謡の魅力を伝える活動を続けています。

継立小学校の民謡体験の授業で濱谷さんの歌声を聴いたことがきっかけとなり、去年から民謡を始めた小学生が、今年の民謡大会で優勝するなど活躍しています。濱谷さんは、「とてもうれしいです。たくさん

の子どもたちと一緒に民謡ができるよう、民謡の良さや楽しさを伝えていきたいです。これから少しずつ民謡を続けていきます」と、力強く話しました。



継立小学校で民謡の指導



産経民謡大賞「大賞の部」大賞受賞
7月 大阪市

広報アンケート 町ホームページ



〔発行〕栗山町 〔編集〕総務課

〒069-1512 北海道夕張郡栗山町松風3丁目252番地

☎ 0123-72-1111 FAX 0123-72-3179

〔印刷〕山東印刷株式会社

☎ <https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/>

✉ kouhoubousai-g@town.kuriyama.hokkaido.jp

■「広報くりやま 11月号」の原稿締切は9月30日(木)まで

■提出先：総務課広報・防災グループ ☎ 73-7501(直通)

